開校50周年　校訓：明るく・仲よく・たくましく　「あ・な・た」を大切にする心のふるさとパリ日　depuis 1973

日仏文化学院

パリ日本人学校

令和5年度学校だより　第11号　令和5年12月5日発行　　パリ日本人学校　校長　伊藤　博

師走（しわす）12月　2学期のしめくくり！

令和5年のカレンダーもあと1枚となり、パリのシャンゼリゼ大通りがクリスマスのイルミネーションに輝く時期を迎えています。寒さもさらに増してきて、何となく気ぜわしい日々となっていますが、2学期の授業もあと約3週間で終了となります。児童会・生徒会では、毎朝ホールでの挨拶運動で「BONJOUR」など外国語で挨拶をする日を設定しています。素敵な挨拶で一日が始まると気持ちが良いものです。

さて、「師走」の語源には諸説ありますが、「師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月」と解釈する「師馳す（しはす）」からが有力とのことです。我々教師も「師」がつくため、教師が忙しい時期と勝手な解釈をしたりしています。いずれにしても、2学期のしめくくりの時期です。新しい年と新しい学期の好スタートのためにも、残りの2学期をしっかり充実させたいですね。

復活！　交流会　小学部5・6年生　セットマール校訪問

11月15日（水）、小学部５、６年生がコロナ前まで交流活動を行っていたセットマール高校を訪問し、久しぶりに交流会が復活しました。最初にホールでセットマール校の校長先生と生徒代表からの歓迎のあいさつがあり、続いて本校の６年生、NSさん、NSさんが、日本語とフランス語であいさつをしました。

次に、計13問の「フランス文化クイズ」では、フランスの人気スポーツが「サッカー、テニス、乗馬」の順であるとか、フランス人が1年間で「一人平均２４キログラムのチーズ」を食べるとか、フランス人が一番好きな料理が「poulet frit(フライドチキン)」であるという、フランス文化の雑学を学び、そのあとはセットマール校の生徒がたくさんの体験ブースを用意し、本校の子供たちが順番にブースを回って活動をたのしみました。ランチタイムは、生徒さんが家庭から手作りの品を持ち寄り、素敵なカフェテリアでビュッフェ形式の食事となりました。

閉会式では、６年生のSHさん、MTさんが、日本語とフランス語でお礼のあいさつをしました。バスの出発の際は全員の見送りを受け、年齢の差はありましたが久々の交流会は実りあるものとなりました。次は本校に迎える番です。５、６年生の活動を楽しみにしています。

共生社会・多様性について考えよう！触れよう！

～日本パラリンピック委員会による「パラアスリートふれあい体験」実施～

11月16日（木）、日本からJPC日本パラリンピック委員会の皆様と、東京パラリンピック男子車いすバスケットボールチームのキャプテンで銀メダル獲得の豊島英さんが来校しました。３、４校時にかけて全校児童生徒が共生社会や多様性について学ぶ体験をしました。４つのブースの、①「ワークショップ」では、パラリンピックのＰＲビデオやだまし絵を見ながら「なにかな？」「感じよう」という話合い活動を体験。②「ブラインド体験ゾーン」では、二人一組で片方が目をつぶった状態でゴールまで誘導したり、雑踏の中で声だけの誘導で不十分さを感じたりする活動を体験。③「バスケゾーン」では、車いすバスケ用と普通の車いすの違いや、豊島選手によるドリブルやシュートの実演を見学。④「みんなで走るゾーン」では、手をつないで二人三脚のように足を縛った状態での運動の体験をしました。その日のうちにお礼の手紙を書き、手紙は学校を通じて日本パラリンピック委員会の皆様にお届けする予定です。現在パリ日では、「パラリンピックを通じて考える　今のわたしと未来のわたし」をテーマに、２月の提言フォーラムに向けて探究学習を行っています。先月の車いすラグビーの観戦や今回の体験が、各自の探究学習に大きく役立ってほしいと願っています。

小学部1年生　マルモッタン・モネ美術館見学

10月22日（水）に、1年生が世界最大級のモネの作品を収蔵することで有名なマルモッタン・モネ美術館を見学しました。この美術館は、モネ作品の収集が充実している他、女性画家ベルト・モリゾーの企画展を実施中で、短い時間の中で、多くの名画と触れ合うことができました。

この館内には、モネの作品の中でも、特に日本にいる印象派ファンやモネファンが一度は見たいと願う「印象日の出」が収蔵されています。自由に模写する時間では、「印象日の出」や、有名な多くの「睡蓮」の作品を真剣に模写する姿が見られました。

1年生の館内でのマナーはすばらしく、スタッフへのあいさつもしっかりとできていました。もうすぐ2年生になるという成長の跡が見えた見学会でした。

土曜参観・懇談会　ご参加ありがとうございました

　11月25日（土）、土曜参観では1、2校時の授業をご参観いただきました。また、3校時は学級懇談会でした。ご多用の中、多数の保護者の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。学年が下になるほど、授業中の活躍を見てほしいという意思が強く出ていたように思えます。逆に学年が上になるほど、「よそ行き」の姿が見られるようですが、発達段階の違いを実感します。

　学級懇談会では、学年ごとの実態に応じた話合いが行われました。学校としましては、「来て良かった」と思っていただける授業参観懇談会の実現を目指しております。今後ともご要望等がございましたら担任までお伝えください。

交流会　中学部2・3年生　サン・シャルル・ノートルダム中学校訪問

　11月29日（水）に、コロナ後昨年度から復活したサン・シャルル・ノートルダム中学校との交流会に本校中学部2、3年生が訪問しました。今回は、姉妹校のサン・シャルル・ノートルダム高校の校長先生と副校長先生も参加されました。

　中庭での歓迎セレモニーの後、教室でパリ日生はフランス語で、ノートルダム校生は日本語で、お互いに自己紹介をしました。ボニエ校長先生からは、ナポレオンの最初の后であったジョセフィーヌの住んでいたマルメゾン城を見学するにあたり、ナポレオンの生涯に関する講義をしていただきました。

　次に、グループ別にバスに乗車してマルメゾン城に到着。二人の専門のガイドさんによる英語での詳しい解説を聞きながら見学をしました。見学後にお城をバックに記念撮影。その後、ノートルダム校に戻りカフェテリアでランチタイム。食事中も各グループでの会話が弾みました。食後は中庭で大縄跳びを一緒に楽しみ、閉会セレモニーでは、パリ日生がグループごとにフランス語と日本語でお礼のあいさつを伝えました。

　今回、復活した昨年度に続いて二度目の訪問となりましたが、開会時の自己紹介でのフランス語の準備や閉会時のフランス語と日本語でのあいさつなど、中学部の生徒の工夫と努力の跡が随所に見られました。時間的な制約がある中で充実した交流を実現することができたことは、サン・シャルル・ノートルダム中学校のボニエ校長先生や日本語科のシマール琴子先生をはじめ、様々なサポートをいただいた先生方のおかげと心から感謝を申し上げます。次回、2月28日（水）、ノートルダム校の来校が今からとても楽しみです。

中学部マラソン記録会実施

１１月30日（木）、中学部恒例のマラソン記録会が行われました。今回は、昨年度までの午後開催を午前開催とし、パリオリンピック・パラリンピック会場のベロドロームを背にした池のほとりをスタート・ゴールとしました。コースも池に沿って走って折り返す設定としました。

この秋から冬にかけては雨の日が多く、当日の天候も心配されましたが、ほぼ無風で太陽まで顔を出すこれ以上ない日和の中で実施できました。表彰も昨年度までは着順によるものでしたが、今年度からは当日の記録証の他、練習開始時からのタイムの伸び率の良い生徒を表彰することとし、一人一人の努力の結果が実感できるものとしました。欠席者もなく、全員が無事に完走できたことがすばらしいと感じました。

令和５年度　学校評価保護者アンケート結果の報告

学校評価保護者アンケートは対象が全児童生徒の保護者で、１６９名中１５５名の保護者にご回答いただきました。お忙しい中ありがとうございました。

【回答】４：あてはまる　３：ややあてはまる　２：あまりあてはまらない　１：あてはまらない　０：わからない

	4	3	2	1	0	4+3
1　学校は確かな学力の育成を行っている。	46.1	46.1	6.9	0	0.9	92.2
2　学校は豊かな心、たくましい体の育成を行っている。	51.3	34.4	9	4	1.3	85.7
3　学校はグローバル人材を育成する教育の推進を行っている。	35.1	40.3	18.2	0.1	6.3	75.4
4　学校は個に応じた指導や支援を行っている。	33.6	44.7	15.1	3	3.6	78.3
5　学校は児童生徒の安全のための危機管理を行っている。	52.3	37.9	9.8	0	0	90.2
6　学校は施設設備の充実と活用を図っている。	29.6	40.1	18.4	0	11.9	69.7
7　学校は教師の指導力向上を図っている。	28.8	31.4	19	6.4	14.4	60.2
8　学校は効率的な校務運営を行っている。	30.7	28.8	21.6	7.1	11.8	59.5
9　学校は開かれた学校づくりを行っている。	46.5	34	16.7	1.4	1.4	80.5
10　学校は児童生徒数の確保に努めている。	23.5	34	21.6	6.5	14.4	57.5
11　学校は財政運営の効率化と安定化に努めている。	26	29.9	16.2	13	14.9	55.9

各項目とも「４＋３」の回答が７５％を超えるもの（黄色い部分）を肯定的な評価項目、６０％を下回るもの（青い部分）を課題が多い項目ととらえました。また、自由記述欄「パリ日の将来像を考える上で『魅力あるパリ日』『選ばれるパリ日』への建設的なご意見ご要望」の回答を、多いものから整理すると　１、英語・フランス語の語学教育の充実　　２、実験・実習器具等施設設備の充実　３、交流・体験活動の充実　となりました。この他にも件数は少ないですが、貴重なご意見もいただいております。なお、児童生徒数が多少上向き傾向にあるとはいえ財政難はいまだに継続中です。理事会の助言もいただきながら、「すぐできるもの」「次年度に実施するもの」「長期的なスパンで準備するもの」に分類し、できる限りご意見やご要望を反映できるよう努めていきたいと思います。今後とも「魅力あるパリ日・選ばれるパリ日」実現に向けてご支援をよろしくお願いいたします。